

予算の執行状況

市政運営の基本となる一般会計予算の平成19年度執行見込みをお知らせします。
 最終的な決算の内容は、本誌12月号に掲載する予定です。

予算の状況

当初
 予算

予算規模は前年度比0.5%の減

税源移譲により市税収入は増加しましたが、地方交付税などの減少により、収入全体では減少が見込まれています。さらに、児童手当支給費や市債の償還といった削減できない支出が増加したため、厳しい財政状況が続いています。そのような中、市長再選後に政策的な予算を追加し、予算規模を前年度に比べて0.5%の減少にとどめました。

補正
 予算

防災対策や保育所整備、生活保護費に予算を追加

道路・街路の防災対策や、新たに国からの財源が交付される見通しとなった保育所整備費補助金、年度中に不足する見通しとなった生活保護費などに、30億円の予算を追加しました。

主な補正予算項目	<ul style="list-style-type: none"> 道路や街路の防災対策 … 5億円 保育所整備 … 4億円 生活保護費 … 17億円
----------	---

最終
 予算

前年度比0.6%減の最終予算

当初予算額※	7,802億円
補正予算額	30億円
前年度からの繰越額	61億円
合計(最終予算額)	7,893億円

※年度当初の予算と、市長再選後に追加した政策的な予算の合計額です

執行状況

一般会計の主な歳入・歳出の決算見込み

区分	最終予算額	決算見込み額
主な歳入	市税	2,850億円 2,826億円 (149,244円)
	国庫支出金	1,202億円 1,175億円
	諸収入	1,149億円 1,071億円
	地方交付税	1,057億円 1,018億円
	市債	517億円 465億円 (24,557円)
主な歳出	保健福祉費	2,103億円 2,050億円
	諸支出金	1,187億円 1,142億円
	職員費	1,041億円 1,039億円
	公債費	981億円 961億円
	経済費	872億円 808億円
	土木費	845億円 780億円

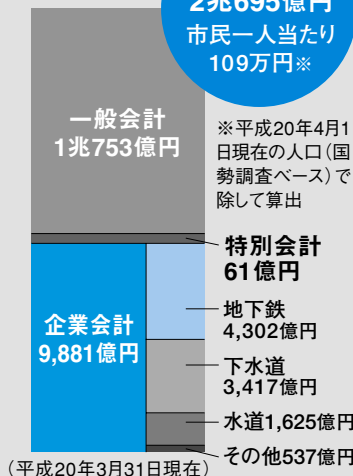
※()内は市民一人当たりの金額。決算見込み額を平成20年4月1日現在の人口(国勢調査ベース)1,893,547人で除して算出

市債残高の状況

市債とは、公共施設などを造るために市が借り入れる長期の借入金のこと。将来、その施設を利用する市民にも、費用を公平に分担してもらうためのものです。

今後の返済に備えて資金の積み立てをすなど、計画的な返済に努めているほか、新たな借入金をできる限り抑制しており、市債の残高は減少していく見込みです。

なお、一時借入金(年度途中の一時的な資金不足を補うための借り入れ)については、一般・特別・企業の各会計ともに平成20年3月31日時点で借り入れ残高はありません。



基金残高の状況

基金とは、特定の目的のために積み立てた資金や不動産などの財産のことです。

区分	現在高
減債基金	1,188億円
土地開発基金	719億円
まちづくり推進基金	184億円
財政調整基金	163億円
その他基金	159億円
合計	2,413億円

(平成20年3月31日現在)